

一期一絵・・・

# SILKLAND

gallery news & communication

No.96

ギャラリー通信

Oct 2016

<http://www.silkland.co.jp>



《笑宴 I》51×64.3cm

## 傾き者旅日記 今も昔も新しい 鈴木 強 展

2016年 10月24日(月) — 11月6日(日) ※最終日は午後5時まで

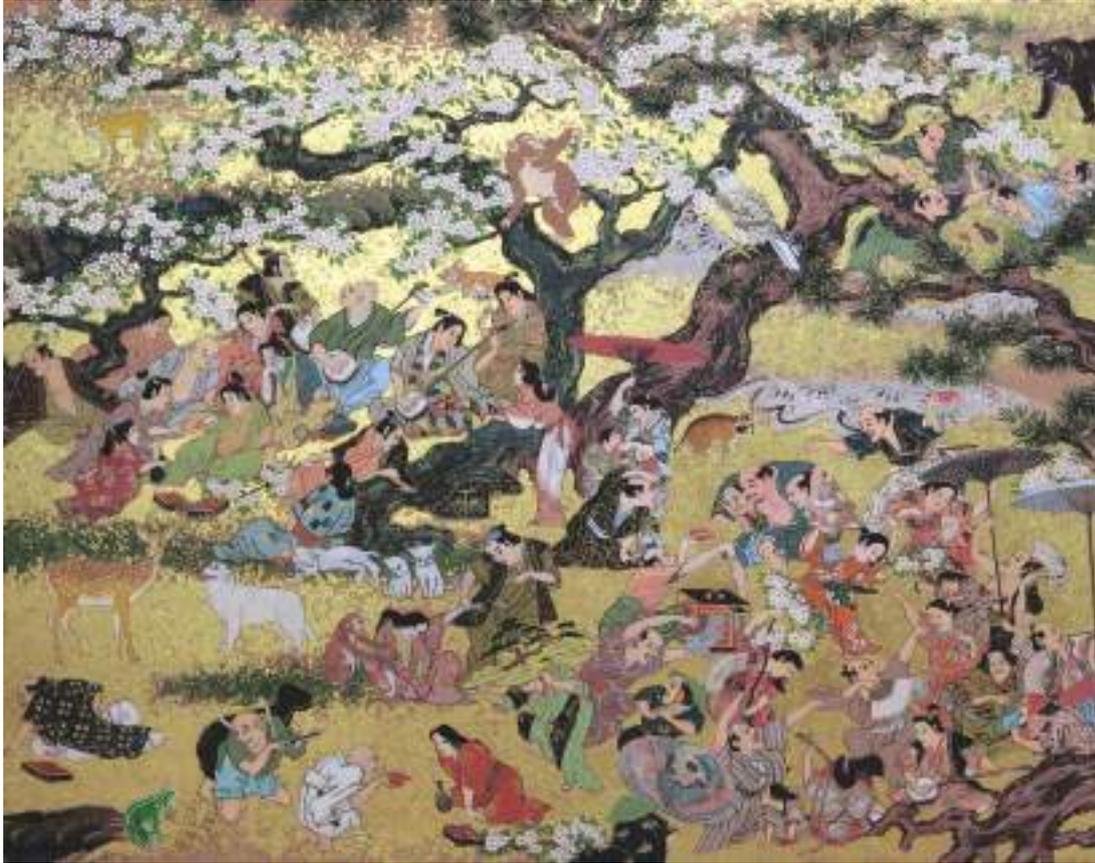
作家来場: 10/25(火)、29(土)、30(日)、11/2(水)、5(土) 午後1時から5時

## ごあいさつ

今年5回目の個展を迎える鈴木強展では、前回も好評をいただいた、かつて江戸後期に活躍した絵師たちによって描かれた景勝地や風俗を掬い取った名品に、独自の想像力を加えつつ、見る側の人々をその時代にいざなう表現手法を用いています。幸福の最小単位であり、互いが通じ合う入り口でもある『笑い』の力に込められた作家のメッセージは、声高に叫ばずとも静かに小声でも伝わる優しさに満ちています。

2016年10月

シルクランド画廊



《笑宴II》51×64.3cm



《笑う丑と辰》20×40cm



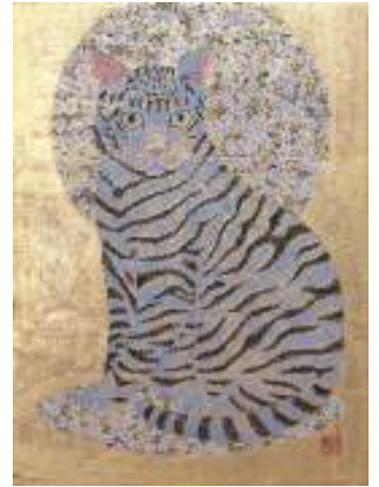
《笑う酉と戌》20×40cm



《笑うネズミ》SM



《宝船》F12



《笑うネコ》F4



《笑うイヌとネコ》62.7×27.5cm



《笑うネコ》62.7×27.5cm

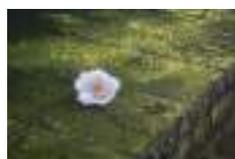


#### 鈴木 強 Profile

1956 静岡生まれ / 1983 多摩美術大学大学院美術研究科 修了(堀文子教室) / 2004～2009 東京田中短期大学講師 / 1976～グループ展参加「KNOB展 / 形象展 / 漣の会 / 万葉の世界を描く」他 / 1979～春季創画展、'80一創画展入選 / 1983～個展「傾き者日記」「笑う動物」シリーズ 毎年開催 / 2000「ワニと男とダイオキシシン」インスタレーション展開催 / 2005～2008 月刊アートトップ (琳派特集)・美術の窓 (マチエール技術講座)・「墨」(一年連載)に執筆、作品掲載 / 作品収蔵: 北里大学医学部・Bloomberg Japan・木内建設(株)・マウンテンミュージアム・横浜美術館(賛美小舎 / 上田コレクション)・愛媛県立美術館

鈴木 強 作品号単価: 6万円

Information  
展覧会情報



「夢のあとさき」P3

11/7 - 12  
奥村 圭子 展

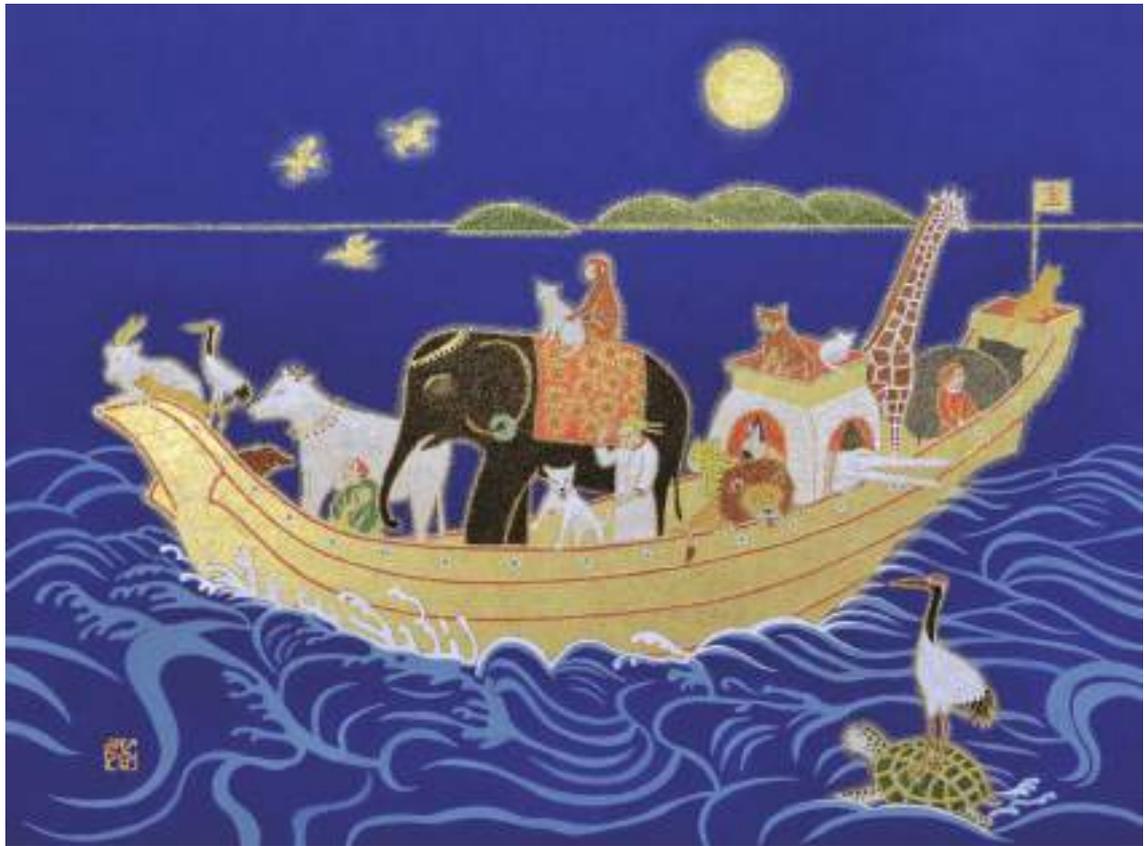
シルクランド画廊における3回目の個展を開催いたします。



「フランス紀行」F10

11/13 - 19  
高橋 信之 展

フランス各地を巡り、現地の人々とのふれあいの中から生み出されたパステル画と、他油彩作品もあわせてご紹介致します。



《宝船》P12



鈴木先生(左)と株式会社リンガーハット会長米濱様(右)



2016年「株主通信」の表紙に掲載された鈴木作品「宝船」

株式会社リンガーハット様の品川区にある本社応接室に飾られた作品には、次のメッセージを添えて訪れる方々にご覧いただいています。

リンガーハットグループの社章やロゴマークをあしらった縁起物の『宝船』。

リンガーハット発祥の地、「長崎くんち」の演し物のイメージを重ねて、日本画家鈴木強画伯に描いていただきました。

米濱 和英

### 作品に寄せる作家のメッセージ

「昔、長崎には多くの船が入港し、また出港していました。帆にいっぱいの風を受け、宝船には動物や人々が笑っています。

笑いは、人と人が出会い人を受け入れる優しい意思として描いています。また、幸福の表情として表しています。荒波を風をつかんで、頼もしい乗組員とともに大海に船出する。宝船の帆は今まさにふくらみきっています。」

鈴木 強

シルクランド画廊 開廊時間：11:00→19:30(土・日・祝日は18:30まで)

〒104-0061 東京都中央区銀座6-5-11 第15丸源ビル1階

Tel 03-5568-4356 Fax 03-5568-4357

http://www.silkland.co.jp e-mail gallery@silkland.co.jp

アクセス ■ 地下鉄丸の内線、銀座線、日比谷線「銀座駅」B7,B9,C2出口 徒歩2分 ■ JR「新橋駅」銀座出口 徒歩6分

